

寸言

Wesco Aircraft Japan合同会社
Business Development Manager
佐治 浩一



欧米流SCMサービス御提供にむけて

この度は、国内航空宇宙工業界の発展に永年に亘り多大な貢献をされております日本航空宇宙工業会へ入会させていただき大変光栄に存じ上げます。

Wesco Aircraft Japan (ウエスコ エアクラフト ジャパン) 合同会社は、米国カリフォルニア州に本社を構えるグローバル企業(詳細は弊社hpサイトwww.wescoair.comをご参照ください)であり、5,000社を超えるサプライヤーから提供される標準部品、電気部品、ペーシング、ケミカル品(接着剤、塗料他)等565,000点を超える品目を、世界55か所以上の拠点を經由して7,000社以上のお客様に提供しております。

弊社は、昨年3月からWesco Aircraft Holding, Inc.の日本法人として活動を開始いたしました。この伝統ある日本航空宇宙工業会へ入会させていただいた理由は、欧米航空宇宙業界では至極当たり前に活用されている上段記載の部品・ケミカル品等のSCMサービスを、我が国でも同様に提供し、各社様の企業価値向上へ貢献させていただきたいと考えたからであります。具体的には、部品のJIT、VMI (Vender Managed Inventory)、キットサービスやケミカル品の寄託在庫、リサイクルまでをマネージするCMS (Chemical Management System) 等々、お客様自身の高付加価値業務への専念を促し、様々なムダを省くためのサービスをご提供致します。

我が国航空宇宙産業は、上位Tier各企業に過度な資産・人的負担を伴う逆三角形構造と言われております。一方、欧米の航空宇宙産業は底辺が水平な三角形であるがゆえに、市場の裾野も広がり発展しやすい構造となっております。従い、我が国の航空機

業界発展のためには、まずこの逆三角形構造のそぎ落としこそが必要であり、そこには業界としてのSCM改革が不可欠かつ望まれていると考えております。そして、それが結果として国内航空宇宙産業の裾野拡大にもつながり、我が国航空宇宙産業の発展にも寄与していくものと常々個人的に考えておりました。

しかし残念ながら、斯様なSCMソリューションを扱う企業がこれまで国内航空宇宙業界には存在しませんでした。

また、これまで製造業においては、コストダウンを材料費や加工費等の直接費に注力しながら厳しい取り組みをされてきた一方で、間接費につきましても効果が見えにくいと同様な取り組みが遅れている一面があります。毎年数%のコストダウン等直接費の追求という従来の視点のみでは、かなり限界にきていると思われる一方、Value (価値) の創造という発想にて各社様のあらゆる無駄を省いて生産性や効率性を向上させていくことによる財務指標の改善はこれからの志向であり、弊社が貢献できる分野と確信しております。

幸いなことに当社は、昨年後半にサービスの拠点となる倉庫を確保し、現在お客様と運用の調整を開始しているところであります。今後労働人口の減、働き方改革により益々注目されていくAI、RPA (Robotics Process Automation) 等により変化していく流れの中で、従来の業務プロセスも変化せざるを得ません。

これまでの自前主義ではなく、オープンイノベーションへの変革にあたり、各社様のお役に立てることができたら幸いです。

これから末永くお付き合いのほど宜しくお願い致します。